

# 会議記録

会議名	令和元年度 第1回教科用図書奥能登採択地区協議会		
日時	令和元年5月31日(金)9時30分～10時45分	会場	奥能登行政センター4階多目的室
参集者	多田進郎(珠洲市教育長)、山岸昭彦(珠洲市教委参事)、珠洲市PTA関係者、 中口憲治(能登町教育長)、河元智志(能登町教委次長)、能登町PTA関係者、 布施東雄(穴水町教育長)、樋爪友一(穴水町教委局長)、宮坂雅之(輪島市教育長)、 富水聡(輪島市教委教育参事)、柿田知津(奥能登教育事務所指導主事)、平田勝(輪島市教委)		
<p>①自己紹介：穴水町、珠洲市、能登町、輪島市の順</p> <p>②地区協議会役員選出 会長の選出について、珠洲市教育長より、今年度事務局である輪島市の教育長が就任すればとの意見。全員了承。 会長代理について、規則より会長が指名するとのことで、宮坂教育長が中口能登町教育長を指名。</p> <p>③開会挨拶(概要) 宮坂輪島市教育長 昨年度は中学校の道徳の教科書を採択した。今回は来年度から4年間使用する全教科の小学校と、中学校の教科書は、昨年度検定で合格した教科書がなかったため、1年間使用する教科書を前回検定の教科書から採択を行うこととなる。その際は4年間の使用実績をふまえつつ、前回採択の調査研究結果を活用することが可能とのことであるので、実質的には今まで使っていたものを使用することになると思う。</p> <p>④説明および協議 (1)採択関係図、採択制度の概要、地区協議会規則等について (2)R2年度使用小・中学校教科書採択方針について (3)採択事務の日程について (4)教科書研究員の推薦及び候補者数、任命、研究会等について (5)使用教科書一覧、教科書センター・展示場、希望意見書等について (6)地区協議会の予算について →資料に基づき説明 (質疑応答) ・研究員の推薦について、6月5日までに推薦すること。責任者に珠洲市が多いのは、他市町の教員が県に研究員になっているためであることを説明。 ・小学校の教科書について、「信州教育出版」の見本が県教委にしか届いていない。審査の取り扱いについて→調査しようがないので審査の対象から外すことで了承した。 ・中学校の教科書について本会議でどうするのか決定するのか？ →これまでの実績と、前回調査の結果より、引き続き同じ教科書を1年間使用することで了承。本協議会の決定事項とする。</p>			

⑤閉会挨拶（概要） 中口能登町教育長

小学校の教科書は、各研究員が慎重に調査し、その結果を皆さんとどの教科書がいいか決定することになる。7月17日の第2回地区協議会で採択結果を出し、2市2町教委に答申する。その答申結果に基づき、8月中に各市町教委で採択してもらうことになる。加賀地区の方で差し戻しということが以前あったようだが、本協議会の結果を尊重して各市町で決めていただきたい。